【八王子市】

校務DX計画

　国では令和５年３月に文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、令和５年８月に中央教育審議会初等中等教育分科会 質の高い教師の確保特別部会における「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」において、デジタル化の方針や利活用の方針について示されました。

　八王子市では「八王子市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定し、「本市におけるDXとは何か」「なぜ今DXに取り組む必要があるのか」「DXでどのようなことを実現するのか」といった共通理解を形成し、デジタル化を加速するとともに計画的かつ効果的に進めて参りました。

　八王子市教育委員会事務局においても、対面開催を原則としていたものをオンラインに移行したり、書面で提出を求めていたものをデータで完結させたりするなどのデジタル化を進めてまいりました。また学校現場においては児童・生徒が１人１台の端末を持ったことにより新たなサービスやアプリケーションの利用が進んでいます。

　これらの動きをより一層推進していくと共に、学習基盤として利用しているクラウド環境の利活用の幅を広げて参ります。

　様々な場面で急速にデジタル化が進行した一方で、従来のセキュリティ対策に加えて新たなセキュリティ上の脅威に対応することが必要になっています。

　新たなアプリケーション等の利用を進めるためには、利用者自身が適切な使い方やパスワード設定等のセキュリティ対策を行うことが重要であるという認識を教職員１人１人が自覚し、理解している環境が形成されていることが重要です。

　八王子市は市全体として保有する情報資産を様々な脅威から守るための基本的な考え方をまとめた「情報セキュリティ基本方針」を策定し、基本方針に基づき情報セキュリティ対策を実施するための「情報セキュリティ対策基準」を定めています。コンピュータやネットワークについて、コンピュータウイルスに感染しないよう、侵入を検知し防御する環境を教育委員会事務局が主体となって整備するとともに、不正アクセス対策として、適切な防御策を実施しています。

　全教職員向けのセキュリティ研修や情報セキュリティ実施検査を実施することで、セキュリティ対策を徹底していきます。特に教員は将来を支える貴重な人財を育成する立場にあることから、ICT活用技能及び指導力の向上と併せて施策を展開して参ります。

　また、特に重要な情報を取扱う校務支援システムについては、その重要性を学校教職員に周知すると共に、次世代の校務支援システムの導入に向けては事務に関係する組織の意見を十分に生かせるように体制を含めた検討を進めて参ります。

　教育委員会事務局は、「八王子市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づく業務プロセスの見直しの中で、押印の廃止やFAXでのやり取りの見直し、RPAを活用した業務の自動化等に取り組んでいます。この経験と実績を学校現場に還元するため、所掌事務の範囲において、各部署におけるデジタル化を推進するとともに、現場と伴走し、デジタル技術を活用した業務改善を進める体制について検討します。

　学校現場におけるDXは特定の課のみで完結する内容ではないことから、市長部局や指導主事など幅広い協力を得て、推進していく体制の構築を進めて参ります。